



参加実績16,000人以上!

低学年～
高学年まで
楽しめる！



や　さ　い　　だ　い　　す
野菜、大好き!!

おいしく！

野菜チャレンジ

2026



見て、さわって、
味わって！
体感で学ぶ食育



クイズや
実験で
旬や栄養を
学ぶ！

オンライン または 訪問 でお届け

プログラム参加団体 募集中！

第1次締切

3月1日

第2次締切

5月24日

ご応募はWEBから！



共催

放課後 NPO
アフタースクール

後援

文部科学省



おいしい！野菜チャレンジとは？

子どもたちが主体的に学ぶ体験型授業をお届けします！
クイズや実験、ジュースづくりなどを通して、楽しみながら野菜と仲良くなれる食育プログラムです。

● 3つの特徴 ●

1. 主題的に参加できる 体験型授業

野菜について謎解きを通して楽し
く学んだり、オリジナルジュース
のレシピを考えて発表したりする
など、主体的な学びの要素を取り
入れたプログラムです。

2. 体感を通して 学ぶ食育

「さわる・見る・かぐ・知る」子
どもたちの感覚をフル稼働し、体
感を通じて野菜を立体的に捉え、
学びます。

3. 食習慣を見直す きっかけに

野菜と親しむことで、「野菜を食
べてみよう！」と意欲がわいた
り、家庭でも食習慣を改めて考
えたりするきっかけになります。

● 選べる 2 つのプログラム ●

実施の様子は
WEBサイトで
公開中！



オンライン

or



訪問

野菜のふしぎ実験編

実施時間 小学校授業 ▶ 45分 放課後活動 ▶ 60分

謎解きや実験のワクワクを通じて、野菜が
苦手なお子様も自然に野菜と触れ・親しむ
ことができるプログラムです。



訪問

最強のジュースレシピ編

実施時間 小学校授業 ▶ 90分 放課後活動 ▶ 90分

オリジナルジュースをつくることを通じ
て「苦手な野菜も気がついたら飲めちゃつ
た！」と野菜嫌い克服のきっかけをつかめ
るプログラムです。

● 楽しみながら野菜と接し、野菜への興味・関心を育む ●

子どもたちの野菜不足は、保護者・学校共通の「困りごと」。しかし、野菜に苦手意識を持つ子もいます。
そこで私たちは、子どもたちが楽しみながら、野菜について知ったり、接したりすることが
野菜への興味を育む第一歩になると考えました。

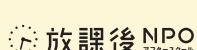
主体的に参加できる体験型授業を通して、子どもたちが野菜と仲良くなるきっかけをつくります。

「おいしい！野菜チャレンジ」は2社の協働プロジェクトです



カゴメ株式会社

カゴメは1964年以来さまざまな食育を積極的に行っています。カゴメの持つ野菜の知見や野菜の加工技術を活用した本プログラムの体験を通じ、子どもたちの野菜への興味を育んでいきたいと考えています。



放課後
NPOアフタースクール

学校施設を活用した放課後の居場所「アフタースクール」の運営、企業や自治体と連携した全国の放課後の居場所支援・子どもたちの体験機会創出に取り組んでいます。

選べる2つのプログラム

プログラム選択でお迷いの際は応募フォームにて
「いずれでもよい」をお選びください

野菜の「なぜ？」を実験で解明！

オンライン

or

訪問

野菜のふしぎ実験編

実施時間 小学校授業 ▶ 45分 放課後活動 ▶ 60分

野菜トレジャーハンターとなってクイズや実験に挑戦するプログラム。ナゾを解いて宝箱を開けるドキドキ感で夢中になり、自然に野菜と仲良くなります。本物の野菜を使った実験が人気です。



やさい
この野菜はな

※ご希望の実施時期を応募フォームにて
ご回答ください。

野菜を知って、オリジナルジュースをつくろう！

訪問

最強のジュースレシピ編

実施時間 小学校授業 ▶ 90分 放課後活動 ▶ 90分

本物の野菜を使ったクイズやオリジナルジュースづくりを通して野菜と仲良くなるプログラムです。



※ご希望の実施時期を応募フォームにてご回答ください。

体験者の声をCHECK!

2024年度プログラム実施後アンケート結果より
調査期間：2024年7月～2025年3月 調査人数：95団体 子ども2617名 保護者1537名 団体担当者302名



子どもたちの声

プログラムは
楽しかったですか？



野菜をもっと食べようと
思いましたか？



今まで、こんな授業を
うけたことがないくらい
楽しかった。

(2年生)

実験で水に野菜を入れ
たり、何の野菜か触っ
て当てるのが楽しかっ
たです。

(2年生)

今まで知らなかっ
た野菜の秘密をたく
さん知
ることがで
きて、予想
の何倍も
楽しかった。

(3年生)

毎日がんばって、少
しづつ野菜を食べら
れるようになっ
た。

(5年生)

保護者の声

1日にとりたい野菜の目標量を
楽しく学べたと話していました。
野菜をいっぱい食べたいと
言っていました。

(2年生保護者)

自分の口に入る野菜がどのよう
な過程を歩んでいるか、興味が
湧いているようです。

(2年生保護者)

野菜があまり好きではなかった娘が、オ
ンライン授業の日に帰宅してすぐ、「野
菜は1日350g食べるんだよ」と教えて
くれました。以前よりたくさん野菜を食
てくれるようになりました。

(5年生保護者)

食事に並ぶ野菜を話題にした
り、野菜を使ったジュースの原
料を気にしたりしていました。
野菜に興味を持ついい機会に
なったと思います。

(2年生保護者)

おうちに帰って
プログラムの話を
お子様としましたか？

話をした。
少し話をした

93%

実施小学校教員・学童スタッフの声

野菜は好きではないと言っていた子
が、野菜ジュースをおそるおそる口に
運び「おいしい！」と言っていたり、
顔をしかめながらも全部飲んだ姿を見
てうれしかったです。友だちと一緒に
と勇気が出るようです。

(静岡県 放課後こども教室 ご担当者)

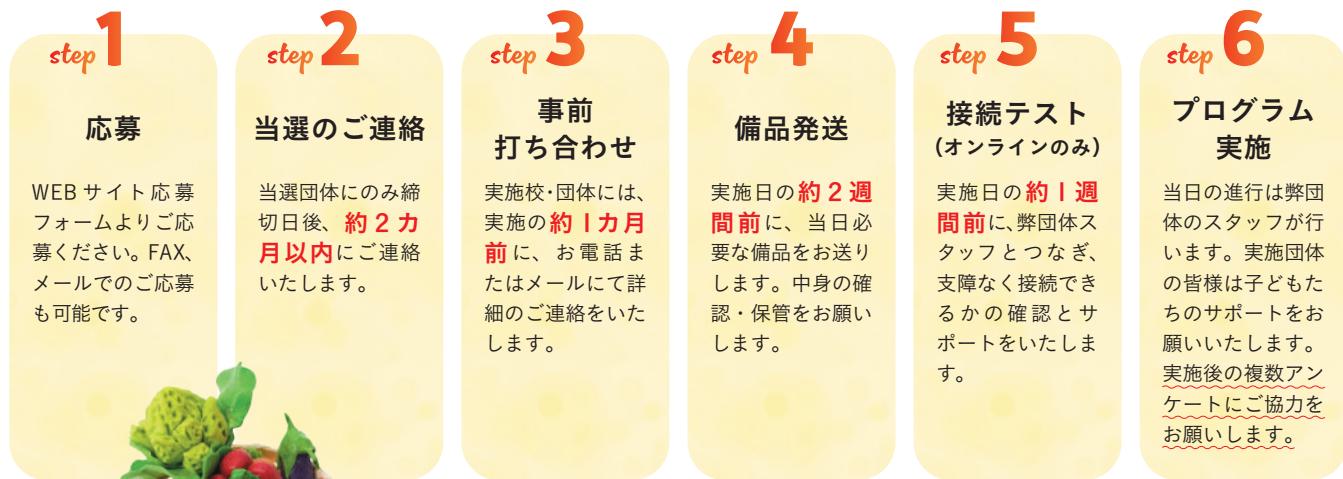
「今から何が始まるんだろう…」最初か
らワクワクの子どもたち。プログラムを
楽しむうちに、今までまったく野菜がダメ
だった生徒がジュースを口にしてくれ
ました！プログラムを通じ、新しいこと
にチャレンジすることが楽しいと感じら
れる第一歩になったのではないかと思
います。

(静岡県 放課後児童クラブ ご担当者)

プログラム後は、「この野菜の名前
は何？」「食べてみたらおいしかった！」
などと嬉しい声を多く聞くよ
うになりました。小学生の頃から野
菜を食べる理由を正しく理解し、苦
手を克服することは野菜不足が危惧
されている今、とても大切なことだ
と改めて実感しました。

(東京都 小学校 栄養士 A先生)

応募から実施までの流れ



2026年度 募集要項

応募締切

第1次締切

2026年3月1日(日) (実施 2026年7月～翌年3月)

第2次締切

2026年5月24日(日) (実施 2026年9月～翌年3月)

募集対象

小学校・放課後児童クラブ(学童保育)・放課後子ども教室・放課後活動団体など、小学生を対象とした活動をしている団体

実施対象

小学1～6年生

*このプログラムは2～3年生を想定したプログラムですが、どの学年も楽しめるようになっています。

実施地域

全国

定員

40名/回

実施回数

年間80回

実施時間

●野菜のふしぎ実験編

オンライン / 訪問：小学校授業 ▶ 45分、放課後活動 ▶ 60分

●最強のジュースレシピ編 訪問：小学校授業・放課後活動 ▶ 90分

費用

プログラムはすべて無料です。

*実施団体様には実施場所をご手配いただきます。 *非営利目的のため、参加費は徴収せずに実施してください。

ご用意いただくもの

机、椅子、手を洗える水場 (※使用食器の洗浄や子どもたちの手洗いで水場をお借りします)、1回の実施につき参加人数にかかる野菜数個(3～4種類程度を1つずつ) (※詳細は当選後にご連絡いたします) ●できれば▶プロジェクト、スクリーン

応募方法

ご応募は
WEBから!

<https://npoafterschool.org/yasai-challenge/#contact>

FAX 03-6634-5596 メール yasai@npoafterschool.org



選定に
あたっての
留意事項

●実施校・団体は事務局で選出いたします。選定にあたり、確認書ならびに電話などで参加者や実施場所、準備物などについてヒアリングする場合があります。また、実施日時の調整をさせていただきます。●実施決定後のキャンセル、日程・会場変更などはご遠慮くださいますようお願いいたします。やむを得ない場合はご相談ください。●プログラム当日は、事前準備・後片付けのお時間も考慮して、会場の確保をお願いします。●1団体につき1回の応募をお願いします。

アレルギーに
ついての
留意事項

「おいしい！野菜チャレンジ」で使用するアレルギー表示対象原料 ●りんご ●オレンジ ●バナナ ●もも
上記以外にも野菜や果実(みかん、レモン、パイナップル、ぶどう、グレープフルーツ、マンゴー、パッションフルーツ、アセロラ、ブルーベリー、ラズベリー、クランベリー)を原料にしたジュースを使用します。参加いただくお子様の食物アレルギーの有無についてご確認いただき、応募時にご記入をお願いいたします。当選後に改めてアレルギーについては確認させていただきます。

結果通知

当選団体にのみ締め切り後、約2カ月以内にご連絡いたします。

「よくあるご質問」もご覧ください。↗

よくあるご質問

Q1

アレルギーの程度はどのくらいなら
参加できますか？

その都度確認させていただき、できるだけ実施ができるように対応したいと考えています。応募時はわかる範囲でご記入ください。

Q2

最大の参加人数は何名ですか？

本プログラムは40名が最大参加人数です。基本的に1団体1回の実施ですので、40名を超える場合は、学年で区切ったり申込制にしていただくなどのご対応をお願いしています。ただし、小学校授業の場合は、複数回実施などの例もございます。

Q3

すべてのプログラムに
応募することはできますか？

ご応募いただけます。希望プログラムを「いずれでもよい」と選択いただくことも可能です。なお、長期休みの時期は応募が集中します。幅広い日程をご提示いただくことで当選確率が上がりますので、ぜひご検討ください。

Q4

当日のスタッフは必要ですか？

お子様対応で数名のスタッフの方にご協力いただければ助かります。進行は当法人スタッフがすべて行います。

Q5

用意する野菜は人数分必要ですか？

人数分のご用意は必要ありません。全体で数個(3~4種類程度を1つずつ)ご用意をお願いいたします。(ご自宅にあるもの、畑でとれたものでも可)
野菜の準備に関する詳細は、当選後にご連絡いたします。

Q6

調理はしますか？

調理はしません。ただし「最強のジュースレシピ編」では、感染対策を講じた上でジュースをまぜる活動がございます。(状況により変更する可能性があります)

Q7

事情があり、参加者全員からは
写真・映像等の使用可否の確認を
とれないのですが、
その場合応募できませんか？

ご応募いただけます。使用可否の確認がとれていない方、および、使用を許諾されない方は撮影しないなどの配慮をいたします。(事前の確認がとれていない方が当日参加される場合も配慮しますのでお知らせください)

オンライン

Q8

オンラインに使用する
機材がないのですが…

プログラム実施に必要な機材はすべて無料でお貸します。(モバイルWi-Fi/パソコン/ケーブル等)機材の接続サポートもしますので、インターネット環境や通信機材のない団体様も安心してご応募ください。

お気軽にお問い合わせください！

おいしい！野菜チャレンジ事務局

お問い合わせ時は「おいしい！野菜チャレンジ」と一言いただければ幸いです。

詳細・
お問い合わせ・
ご応募は
WEBから！

おいしい！野菜チャレンジ



<https://npoafterschool.org/yasai-challenge/#contact>

📞 050-1741-3912 ● 受付時間 平日10時~17時

✉️ yasai@npoafterschool.org

お子様の興味・関心に合わせ、野菜についてのさらなる学びにご活用ください

植育から始まる食育
よろこびを、一から土から。

野菜の栽培や収穫体験、
野菜を加工する工場見学等、
野菜へのわくわくを
育てる体験がいっぱい！



カゴメオリジナルストーリー
不思議の畑のアリス

野菜を育む畑の世界を冒險
しながら、楽しく学べる
物語。ぜひご家族で
お楽しみください！



KAGOME
りりきわくわく
プログラム

小学校・幼稚園に無償で
トマト苗を提供し、栽培から
調理までの一連の過程を
サポートする取り組みです。

